

小規模多機能型居宅介護 サービス評価
【平成 29 年度 事業所自己評価】

在宅ケアセンターひまわり

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 5 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 坂本昇、宮崎、牧野、田中、木村、米加田
原尾、中川原、池福、坂本輝美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	8 人	2 人	0 人	10 人

前回の改善計画
・新規の利用者には積極的に関わり、良好な関係作りに努める。
・新規利用者と家族の情報共有する機会を作り、ニーズの把握に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
・新規利用者に対して密にコミュニケーションをとったり、声かけを行うことが出来た。
家族とも自宅での様子や本人の様子を送迎時や面会時に共有出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	5	4	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	7	3	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	6	1	0	10
	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	8	2	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用開始前に情報提供書や申し送りノートでの情報収集、ミーティング等での共有が出来ている。
・初回利用時や利用回数が浅い利用者に対し、他利用者との信頼関係が出来るように職員が間に入り会話の橋渡しを行い、楽しんで頂けるような環境作りに努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・情報提供から利用開始までの期間が短く、把握出来ないこともある。
・訪問の利用者に対して訪問に伺ったことがなく接点がない。
・本人と家族が求めるものが違う時があり、どちらの意見を尊重したらよいか分からない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・新規利用前にはミーティングで共有、難しければ申し送りノート、何名かでの共有を図り、全職員に情報が伝わるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 5 日 (17 : 30～18 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 坂本昇、宮崎、牧野、田中、木村、米加田原尾、中川原、池福、坂本輝美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	7 人	3 人	0 人	10 人

前回の改善計画

- ・利用者の想いを把握するために、本人・家族から情報収集に取り組む。
- ・利用者の想いについて日々の業務の中で確認する時間を創る。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者が好きなことを本人、家族から収集し楽しんで頂けるような支援が出来た。
- ・会話の中で本人の想いを確認出来ている利用者はおおいが全員ではなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	7	3	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	3	7	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	6	0	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	4	2	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ミーティングでの協議事項、ケア内容について現場で生かせるようにしている。
- ・本人が好きものを食べに行ったり、外出が好きな方と外出したり～したい、～行きたいに対する支援が出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・意思疎通が出来ない方に対し本人のしたいことが聞けない。
- ・行えた支援を次に繋げられていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・実践したケアを振り返る時間を作り次に繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 5 日 (17:30~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 坂本昇、宮崎、牧野、田中、木村、米加田
原尾、中川原、池福、坂本輝美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	2人	0人	10人

前回の改善計画	・利用者の以前の暮らしぶりについて数多く把握し、職員同士で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・生活歴等を情報収集し本人の暮らし方について知ることが出来た。 ・職員同士で情報の共有をすることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	0	9	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	6	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	3	2	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	8	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	7	2	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人に合わせた食事、入浴、排泄ケアが出来ている。 ・情報提供書等を確認し以前の暮らし方について把握している。 ・一人一人挨拶を行い、体調や気持ちの変化に気づくように心がけている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の自宅での生活リズムが把握出来ていない。 ・情報提供の部分で暮らし方を職員同士で共有する時間を作れていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・本人の暮らし方を理解し以前を暮らし方に近づけるような支援を行っていく。 ・職員同士で利用者の体調の変化に早めに気づき共有を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 5 日 (17 : 30～18 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 坂本昇、宮崎、牧野、田中、木村、米加田原尾、中川原、池福、坂本輝美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	4 人	1 人	10 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・独居の利用者が利用日でない時の過ごし方について把握する。・本人の必要な地域資源を把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・定期的な訪問日ではない日にも安否確認を行い、本人の過ごし方に寄り添っている。本人の地区のサロンに参加することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	3	1	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	4	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	2	7	1	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	6	3	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・利用者の住んでいる地区のいきいきサロンへの参加をしている。・地域の行事や外出支援などを積極的に行っている。・訪問の方で、少しでも多くコミュニケーションの時間を作るようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・民生委員とのやりとりが出来ていない。・地域の資源等の把握が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・地域の民生委員を知る必要がある。・利用日でない日の過ごし方について家族や本人から聞き、把握する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 5 日 (17 : 30～18 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 坂本昇、宮崎、牧野、田中、木村、米加田原尾、中川原、池福、坂本輝美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	7 人	1 人	10 人

前回の改善計画
・地域資源を探し、地域の方々との関わりを積極的に行っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・山本地区の方と職員が関わりを持つことが出来た。
・地域の資源として公共施設や公園を利用することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	2	7	1	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	5	1	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	5	4	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7	1	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・急な泊まりや緊急時泊まり利用でも柔軟に対応が出来る。
・本人の状態や家族の要望に応じて対応が出来る。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域の資源をうまく活用出来ていない。
・外部の情報が把握出来ておらず、交流する機会がない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・活用出来る地域資源を調べ、支援を行っていく。(区役所、自治会長、民生委員の方と交流)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 5 日 (17:30~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 坂本昇、宮崎、牧野、田中、木村、米加田
原尾、中川原、池福、坂本輝美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	0 人	8 人	2 人	10 人

前回の改善計画	・職員全員が自治体や地域に関心持ち、行事の情報収集を行い、積極的に参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	山本夏祭りでは準備から職員が参加することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	2	1	6	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	0	3	6	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	1	4	5	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	4	2	4	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人に合った福祉用具が使えるように話し合っている。 山本地区の夏祭りの準備に参加することが出来た。 ・中学生、高校生の職場体験の際に学生との関わりが出来ている。 ・近所の方が事業所を訪れ、花を持って来られたり会話されたりひと時を過ごされている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域包括支援センターとの会議に参加する機会がない。 ・会議等は幹部が参加している。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域包括支援センターとの会議の内容を一般職員にも発信していく。 ・地域や自治体の活動を把握し参加していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 5 日 (17 : 30～18 : 30)

7. 運営

メンバー 坂本昇、宮崎、牧野、田中、木村、米加田
原尾、中川原、池福、坂本輝美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	0 人	5 人	5 人	10 人

前回の改善計画	・地域と協働した取り組みを積極的に行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・山本夏祭りの実行委員として取り組むことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	5	3	1	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	7	1	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	4	2	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	1	6	3	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・事業所の一員として意見を述べる事が出来た。 ・苦情や意見が挙がった際には速やかに上司に伝え共有するようにしている。 ・家族からの要望や苦情に対し、受け止め全員に周知を行い再発防止に繋げている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自ら積極的に働きかけが出来ていなかった。 ・地域の方の意見を聞く機会がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域の一員として地域の方との関わりの場に出向く。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 5 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 坂本昇、宮崎、牧野、田中、木村、米加田
原尾、中川原、池福、坂本輝美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	3 人	6 人	1 人	10 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・職場内、職場外の研修に多くの職員が参加できる体制を整備する。・地域連絡会に参加した職員は、参加していない職員に情報共有をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・施設内研修では交代制で参加することにより参加率が以前より増えた。・外部研修では回覧等で研修案内を行い周知が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	5	2	2	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	4	4	10
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	0	9	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	2	7	1	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・勤務時間内で施設内研修に参加している。・管理職としてスキルアップの研修に参加出来た。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・地域連絡会に参加する機会がない。・地域に出向いての会議には参加出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・施設内研修に参加出来ない職員にも参加した職員から復興を行っていき、共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 12 月 5 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 坂本昇、宮崎、牧野、田中、木村、米加田
原尾、中川原、池福、坂本輝美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	10 人	0 人	0 人	10 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・利用者一人一人の羞恥心を守る。・適切な言葉遣いを徹底し、プライバシーを守る支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・個人情報保護、管理に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	7	3	0	0	10
②	虐待は行われていない	8	2	0	0	10
③	プライバシーが守られている	1	8	1	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	3	3	4	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	9	0	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・身体拘束は行っていない。・トイレの声かけは本人の耳の近くで尋ねている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・排泄状況を大きな声で職員間で伝えることがあった。・成年後見人制度はケアマネージャーは関わるが、職員は関わらない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・羞恥心に配慮した声かけ、ケアに取り組む。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社ひまわり	代表者	高江 康明	法人・事業所の特徴	利用者様の今まで人生で培った価値観・人生観を尊重する介護を目指しています。様々な活動を通じて、自分の家にいるように感じて頂けるような支援を行い、ご家族の方も含めた生活環境の維持・継続を目指しています。又、地域の人々との繋がりを大切にし、地域のイベントなどに積極的に参加し、地域との交流を深めています。
事業所名	在宅ケアセンター ひまわり	管理者	大畑 千里		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	0人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所のできていない取り組みを把握し、より多くの取り組みができるように、質の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 勤務がシフト制の為、全員がミーティングに参加出来ない。 議事録や申し送りにて情報共有出来る体制を作った。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回より改善結果が出来ている。 意識付けが出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 出来る限り多くの職員のミーティング参加の体制づくりを行っていき、取り組み等を議論していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 地域の様々な所に出向いて施設の認知度を高める取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 外出支援時、公共施設（公園）に出向いた。 	<ul style="list-style-type: none"> 近所の方が持参された花を玄関に飾ってあるのは良い。 季節の花が飾ってある。 落ち着いた雰囲気では不快なおいはいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の多くの方に事業所を知って頂くために様々な所に出向く取り組みを行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方と関わりが多く持てる行事に積極的に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員に関して、山本夏祭りの準備から関わる事が出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口を広報誌に明示されているのは評価できる。 サロンの出前講座にも参加をお願いしたい。 山本まちづくり委員会に参加してはどうか。（自治協議会と相談） 	<ul style="list-style-type: none"> 山本地区の行事を把握し参加出来るよう企画を行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口等を作り、近所の方の暮らしも支える取り組みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ひまわり便りに相談窓口を作り気軽に相談出来るように記載した。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口の情報発信は評価できる。 利用希望者からすればどこに尋ねたらいいか分からない。 利用者からの心配になる方の相談はあった。 山本地区に知ってもらおう努力が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き相談窓口の記載を行い家族からの意見、相談、家族の近所の方からの意見、相談等も聞けるような窓口をつくっていく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員に会議内容や参加者の意見を周知し、支援の質の向上に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議資料をファイリングしているがミーティング等で復興出来ていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事例の掘り出しを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議内容をミーティングにて報告し一般職員にも共有していく。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時や災害時の連絡体制を明確にする。 ・地域の災害対策について情報収集し、訓練等に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入職時等に連絡網の更新が出来ていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業所で運営推進会議の後の消防訓練に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が入職したり動きがあった際に更新し連絡網の配布を行い緊急時等に活かせるようにする。